



令和5年6月21日
横浜市健康福祉局健康推進課
相鉄ローゼン株式会社

「健康に配慮した食環境づくり」に向け 横浜市と相鉄ローゼン株式会社が連携協定を締結します

横浜市と相鉄ローゼン株式会社は、市民の健康的な生活の実現を目的として、市民の健康づくり及び誰もが自然に健康になれる食環境づくりに向けた取組を行うため、協定を締結します。

協定の概要

1 名称

横浜市と相鉄ローゼン株式会社との市民の健康づくり及び食環境づくりに係る連携に関する協定

2 連携内容

- (1) 横浜市が実施する「健康横浜21」に基づく事業の普及啓発に関する事項
- (2) 相鉄ローゼン株式会社が横浜市の区域内で行う、健康づくりに関する普及啓発に関する事項
- (3) 横浜市が推進する、誰もが自然に健康になれる食環境づくりに関する事項

具体的な取組

働く世代や子育て世代の健康をサポートするため、また、男性の肥満者の割合は女性と比べて多いという全国的な健康課題を踏まえ、30～50歳代の男性をターゲットとした、栄養バランスを考えた「ハマの元気ごはん弁当」を販売します。

1 販売期間

令和5年7月1日(土)～7月末予定

2 商品名

ハマの元気ごはん弁当

3 価格

646円(税込)

4 販売店舗

そうてつローゼン全51店舗(市内26店舗)



<ハマの元気ごはん弁当>

お楽しみに！

ハマの元気ごはん弁当

普段かつ丼や天井などを食べている揚げ物が好きな男性でも手に取るような、『ハマの元気ごはん』の基準を満たし、栄養バランスが整っているお弁当です。

主食(ごはん)、主菜(チキンカツ、から揚げ、ちくわ天)、副菜(煮物、野菜ステーキ、きんぴら、おひたし、キャベツの千切り、ミニトマト)がそろっているおすすめのお弁当です。



経緯

横浜市が進めている健康増進計画「第2期健康横浜21」及び第2期食育推進計画最終評価の結果では、栄養バランスよく食べる人の割合は、策定時の41.3%から34.3%に減少しています。

従来の取組は、栄養バランスのよい食事の重要性について、市民への情報提供による啓発が中心であったため、今後は栄養バランスのよい食事がとれるような環境を整えていくことが必要と考え、令和4年度から産学官で連携し、「相鉄ローゼン株式会社」を含む複数の食品関連事業者や、「国立大学法人お茶の水女子大学」等の学識経験者が参加した横浜市食環境整備検討会を開始しました。検討会では、「中食（なかしょく）」（お弁当や総菜等）に重点を置いた取組や、量と質を兼ね備えた栄養バランスのよい1食あたりの栄養価の基準（ハマの元気ごはん）を検討しました。今後、検討会に参加している他の企業の皆様とも取組を進めます。

横浜市が目指す食環境づくり

着手

栄養バランスのとれた
弁当の販売



企業と連携し、『ハマの元気ごはん』の基準を満たす**弁当の販売**

販売店舗が増える



多くの企業で『ハマの元気ごはん』の基準を満たす弁当を販売

栄養バランスのよい食事を
選択できる環境が整う



市民の**食生活が健康的になる**

『ハマの元気ごはん』の基準

- ① エネルギー：650～850kcal
- ② 主食（ご飯 150～200g）、主菜（肉・魚・卵・大豆製品）、副菜（140g以上）が揃っている
※副菜：野菜、いも類、きのこ類、海藻類
- ③ 脂質のエネルギー比（脂質 20～30%）
- ④ 食塩相当量 3.5g 未満

今後の展開

令和5年度は食環境づくりを効果的に進めるため、国立大学法人お茶の水女子大学と連携し、横浜市中食の現状を把握します。具体的には、スーパーを利用する年代層やエネルギー、野菜量、食塩相当量等の1食あたりの平均値、販売に係る店内表示等について確認する予定です。

市民の健康づくりのため、食品関連事業者の皆様には、ぜひ調査への御協力をお願いします。